



Vol. **163**

2024年7月16日発行
(令和6年)

議会だより しらたか

6月定例会
山形県白鷹町議会



学校の裏山 地域一丸で再整備

鮎貝松ヶ丘教育の森管理会

イノシシ対策を強化 定例会の概要 **2p**

ここが聞きたい 一般質問で町政を問う **4p**

いち早い実現を 県への重要事業要望 **13p**

町政にどう生かされるか 政策提言、回答 **14p**

追跡レポート あの質問のゆくえ **16p**

お手持ちのパソコンやスマートフォンなどで議会中継をご覧ください。録画でもご覧いただけます。



高齢者や視覚の弱い方にも配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています。

定例会の概要

6月
定例会

期 間 6月6日～6月13日（8日間）
審 議 補正予算4件 条例改正3件 人事案件1件
財産取得1件 財産処分1件 請負契約2件
議会決議1件 ※原案のとおり可決
請願（前回からの継続）1件 ※賛成少数、不採択

一般質問 金 田 悟 議員【交通安全対策について】
衣 袋 正 人 議員【災害時における避難行動要支援者の対応について】
丸 川 雅 春 議員【学校給食をより充実したものとしていくために】

補正
予算

イノシシ対策を強化 捕獲用ワナの大幅追加購入などを承認

有害鳥獣対策事業

予算額 493万円

●鳥獣被害対策協議会活動補助金

急増するイノシシ被害に対し、鳥獣被害対策実施隊が使用する捕獲ワナ等の資機材購入を支援し、捕獲量の増加を期待する。

●野生鳥獣市街地等出没対策事業

クマなどの被害を防ぐため、放置された未収穫の果樹を撤去する費用を支援し、居住区への進入を抑制する。

3ページに関連記事



議会
決議

即時停戦と人道危機の改善を 恒久平和の確立を全世界に呼び掛ける

イスラエルとパレスチナの即時停戦等の実現を求める決議

イスラエルとパレスチナの即時停戦等の実現を求める決議案が議員発議により提出され、全会一致で可決された。

8ページに関連記事



補正予算の 主な質疑

健康と福祉の里構想
竹田委員 子育て支援や健康づくり等の機能充実に向けた追加調査とのことだが、町の出生率向上への効果も期待できるのか。

健康福祉課長 子育てをしながら働ける場所や仕組みをつくるなど、産み育てやすいまちづくりの推進を、このセンターを中核として行っていきたい。



改修を待つ福祉の拠点

杉の再造林、三鷹市との連携協定
佐々木委員 三鷹市の考え方、本町が求められるものは。

林政課長 三鷹市はゼロカーボンシティ宣言をしており、二酸化炭素削減を全国的に取り組んでいきたい考えとのこと。友好都市である本町に植栽し、その分の二酸化炭素吸収量は三鷹市の実績となる。

有害鳥獣対策、イノシシ捕獲機器の増設
笹原委員 待望された機器等の大幅増設だが、実行する鳥獣被害対策実施隊との綿密な連携は取られているか。

林政課長 実施隊と協議し、管理できる量であるかも考えての増設である。今後も実施隊と連携しながら、捕獲量を増やしていきたい。



学校の裏山 地域一丸で再整備
鮎貝松ヶ丘教育の森管理会
半世紀近くに渡り地域に親しまれ、鮎貝小学校の「学校の裏山」となっている松ヶ丘教育の森の大規模整備を行っています。6月16日には、近隣地区住民、PTA等が一体となり、約80人で繁茂した熊笹等の下刈りが行われました。その後も見晴らし台の眺望を妨げている樹木の伐採や、老朽化した橋の迂回路整備などが予定されています。

一般会計補正予算の主な内容

第2期健康と福祉の里構想推進事業 200万円
健康福祉センター改修に向けた追加の調査

地球温暖化対策再造林整備事業（三鷹市連携事業） 310万円
東京都三鷹市の負担金による本町での再造林

林業・木材産業循環成長対策事業 727万円
スギのコンテナ苗生産施設整備事業者への支援

有害鳥獣対策事業 493万円
イノシシ捕獲用ワナ等の物品購入支援など

交流推進事業 151万円
東京オリパラを契機とした中国との交流事業

コミュニティ助成事業 1750万円
コミセンの備品購入や分館建て替えへの助成

分館施設整備費補助金 420万円
各地区コミセン分館の施設整備への補助

低所得者支援及び定額減税補足給付事業 8974万円
定額減税一体措置への対応

農地利用効率化等支援事業 379万円
生産の効率化に向けた農業用機械の導入支援

ヤナ公園管理事業 100万円
増水で壊れたヤナ場の修繕費用

など、2億730万円を補正し、一般会計予算総額は94億7730万円となった。

◎財源は、国・県支出金、繰越金などで対応。

※万円未満は端数調整



録画を配信

再度問う、10月町長選挙に向けた決意は

町長 ご支援をいただきながら次期に向けて頑張っていきたい



金田 悟議員

町長選挙への決意

問 令和6年3月の定例会では明確な答弁がなかった。改めて今年10月の町長選挙に向けた決意は。

町長 町民皆さまのご支援をいただきながら、次期に向けても頑張っていきたい。

交通安全対策

啓蒙活動

問 町として交通安全対策と啓蒙活動をどのようにしていくのか。

町長 交通安全対策協議会とともに連携し、のぼり旗設置による交通安全等の呼びかけ、交通安全専門指導員を中心に、子どもたちから高齢者まで、幅広い層での意識向上に向け

た、啓蒙活動に力を入れていく。
問 交通安全協会の活動内容は。

町民課長 交通安全週間の立哨等、地域に根差した活動を行っている。また、高齢者の方が運転免許を返納されたときに運転免許の卒業証書と記念品を贈呈する事業も行なっている。

免許返納

問 高齢者の免許返納状況は。

町民課長 令和5年度免許返納者数は65人で男性が46人、女性が19人という状況である。これまで令和元年度の93人というのが最高で、令和2年から4年までは70人前後で推移している。

問 免許返納者への支援は。

町民課長 65歳以上で、申請をいただいた方はデマンドタクシー料金1万1000円相当分の回数乗車券を贈呈している。

また、運転経歴証明書を提示していただくと、デマンドタクシーの料金、通常500円が、300円に割引等の支援がある。

危険個所の整備

問 危険な形状の交差点や緊急車両の通行に支障を来している町道の整備をどのようにしていくのか。

町長 今後とも、地域の方々の声を伺い、協力いただきながら、危険箇所の把握と危険要因の排除対策に取り組んでいく。



整備が待たれる変形十字路

私もひとこと

事故が発生してからでは遅い。変形十字路は、早急に整備していただくよう切に望みます。

(50代女性)

問 西高玉地区の薬師桜周辺の変形十字路は、近年大型トラック等の交通量が増加し、見通しも悪く大変危険な状態となっている。
町長 以前からそのような状況は把握している。今後、整備に向けては県との調整が最大の課題であると思っている。併せて、用地交渉のご協力をお願いしたい。変形十字路の解消に対しては、これからも引き続き取り組んでいきたい。

要支援者への避難所対応は

町長 間違った判断のないように取り組む



録画を配信

白鷹町国土強靱化計画

基本目標の一番に「人命の保護が最大限に図られること」とあり、町民の安心安全が大原則である。

地域防災計画

問 白鷹町地域防災計画の改定内容はなにか。

町長 令和5年度改定の内容は、令和3年度の災害対策基本法の改正や、近年頻発する災害からの教訓及び山形県地域防災計画の見直しを踏まえ、防災意識の向上を図るため、行政主導の対策から住民主体の対策へ転換を進めるよう修正した。

問 警戒レベル3「高齢者等避難」において、いち早い避難に備えるため早期の避難所開設が必要ではないか。

町長 町としては、常に早い段階で避難所の開設を行っており、避難が必要な方の情報等についても自主防災組織に提供をしている。反省すべき点があれば、具体的に指摘いただき、そのうえで検証を進め、間違った判断のないように取り組んでいきたい。

自主防災組織の充実

問 共助という点で、自主防災会や地域コミュニティが重要であり、自主防災組織等への訓練の種類・方法等の周知や、教材・資機材等のバックアップも必要ではないか。

総務課長 避難訓練の実施や防災マップの作成等に係る経費について助成を行っている。また、訓練等の地域間の情報について共有することは可能と考えられ、地域ぐるみで防災力強化、共助の取り組みをお願いしていきたい。

福祉避難所

問 福祉避難所又は医療機関との情報共有や、受け入れ態勢の整備状況と移送の検討状況は。

町長 現在、町内5つの施設と福祉避難所の



協定を締結しており、避難訓練を実施するなど災害時の対応に備えていただいている。福祉避難所のガイドラインの改定によって、一般避難所と分けて公示することになった。特定された要配慮者等のみが避難する施設であるため、当事者の意向や地域の実情も踏まえつつ、福祉避難所への直接避難についても防災計画に盛り込んでいる。

問 福祉避難所の対象となる方や収容可能な人数等が、確認または情報共有されているか。

総務課長 協定を締結している施設の受け入れ人数等については確認しているが、計画改定の大きな位置づけとなる直接避難の促進については、個別避難計画により誰が福祉避難所への避難が必要なのか確認する必要がある。施設とのマッチング等福祉関係者も交えて体制の整備について検討させていただいている。

私もひとこと

町民の安心のため弱者優先・人命保護第一においた施策を望みます。
(60代男性)

食育として学校給食をどう捉えているか

町長 食の大切さを伝え、地産地消の役割を果たす場



前半 後半
録画を配信



丸川雅春議員

食育としての学校給食

問 食育として学校給食の位置づけをどう捉えているか。

町長 バランスの取れた食事を提供し発育を促すとともに、食の大切さを伝える場、地元食材の活用により地産地消の中心的役割を果たす重要な場と捉えている。

安全な食べ方の指導

問 福岡県で、給食での窒息死亡事故が発生した。防止対策をどうしていくのか。

教育長 学校経営計画の給食指導に基づき、食べ方の指導や、余裕

がある時間を取り、安全に食べることができ環境を確保していくことを改めて徹底するように指導していく。

郷土愛の醸成

問 給食を通して、郷土愛の醸成にもつながる、地域の食文化の理解を深める取り組みも必要と思うが、いかがか。

教育次長 地域の食文化を知ることは重要な食育の一つと捉えている。昨年度は、郷土料理の日と銘打って、献立に干し大根等の郷土料理の提供を6回実施した。今後も給食を通して



おいしい！

して食文化をしつかりと伝えていきたい。

※ジビエ給食の導入

問 農作物への鳥獣被害の問題意識や、生き物の命をいただく感謝の気持ちを育むため、ジビエ給食の導入をどう思うか。

町長 野生動物の命をいただくことは非常に大事なことであるが、確実に安全安心を担保するには時期尚早で、慎重に対応していく必要がある。

自分で作る取り組み

問 自分で作って持参する「おにぎりデー」や「弁当の日」の取り組みへの効果をどう捉え、今後の発展についての考えはどうか。

教育次長 食に対する感謝の気持ちが見られるようになった。現在は一校のみの開催となっているが、各学校の学校運営協議会等の話し合いの中で広がりが出ることにも働きかけていきたい。



※ジビエ
狩猟された鳥獣肉

給食費の公会計化

問 教員の業務負担軽減や管理の透明性の向上につながるため、給食費を町の会計に組み入れる、公会計化導入の考えはあるか。

教育長 各学校での徴収事務は学校事務職員が行い、監査対象の学校給食共同調理場運営委員会に納められるので透明性は確保されている。現在、国のこども未来戦略会議では、給食費の無償化の実現に向けて具体的方策を検討するとされているので、国や他自治体の動向を注視していきたい。

私もひとこと

安全で安心な給食の提供を今後もお願いします。

(40代女性)

条例

●白鷹町税条例の一部を改正する条例

令和6年度における定額減税の実施及び基準年度における評価替えに係る固定資産税の特例を令和8年度まで延長すること等、整備を行うもの。

●白鷹町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

地方税法施行令の一部改正に伴い、課税限度額を引き上げるとともに、5割軽減措置及び2割軽減措置の拡充を行うもの。

●白鷹町特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

医師である特別職非常勤職員の報酬額について、報酬上限額の範囲内で町長が定める額とするもの。

人事

●白鷹町監査委員

小谷部 仁 氏（横田尻）

（任期：令和6年6月14日から4年間）

前任者の任期が満了するため、その後任者を選任するもの。



【あいさつ】

監査委員の果たすべき役割は非常に重要で責任を感じております。共創のまちづくりに向けて微力ながら頑張っております。

契約

●白鷹中学校体育館等改修工事請負契約

契約金額 2億20万円
契約相手 共栄建運株式会社
代表取締役 新野 吉彦

●町民武道館空調設備整備工事請負契約

契約金額 5445万円
契約相手 共栄建運株式会社
代表取締役 新野 吉彦

財産の取得・処分

●取得する財産

取得物件 歩道除雪機 7台
予定価格 1650万8800円
契約相手 有限会社小嶋自動車整備工場
代表取締役 小嶋 秀彦

●処分する財産

種類 ^{りゅうぼく}立木（スギ）
所在 白鷹町大字黒鴨 外
数量 3万3809㎡
予定価格 2289万3100円
売却相手 認可地縁団体 鮎貝自彊会
理事長 後藤 敬一郎

請願審査

1. 件 名 ガザ地区での即時停戦を求める意見書の提出について
2. 請 願 者 戦争やんだ！チーム白鷹
代表 菅原 庄市
3. 紹介議員 佐々木 誠司 議員
4. 付託委員会 総務厚生常任委員会
5. 委員長報告 不採択とすべきもの
6. 賛成討論 佐々木 誠司 議員
7. 反対討論 なし
8. 審査結果 賛成少数により不採択

イスラエルとパレスチナの即時停戦等の実現を求める決議を全会一致で可決

イスラエルとパレスチナの即時停戦等の実現を求める決議

イスラエルとパレスチナのイスラム組織ハマスの軍事衝突により、パレスチナ自治区ガザ地区において、多くの尊い人命が深刻な危機的状況にさらされるとともに、市街地に甚大な被害をもたらしている。

国際連合安全保障理事会では、戦闘終結を含む停戦案が初めて採択された。世界中の人々がこの事態に心を痛め、一刻も早い解決を希求しており、平和都市宣言を掲げ、恒久平和の確立を全世界に呼び掛けてきた白鷹町としても、その願いを共有し、実現を求めるものである。

よって、白鷹町議会は、これ以上の民間人の命が犠牲とならないよう、全ての当事者が国際法を遵守し、即時停戦と人質の即時解放、人道支援物資と医療の提供を通じた人道危機の改善を強く求めるものである。

以上、決議する。

令和6年6月13日

白 鷹 町 議 会

産業建設

苗木生産施設への整備支援

林業・木材産業循環成長対策事業費補助金について説明を受けた。

【事業内容】

白鷹町内で苗木生産施設の整備を行うため整備に係る費用の一部に支援を行うもの。

【事業費及び補助金】

・事業費 1600万円
・補助金 727万2千円

【事業実施主体】

白鷹町大字滝野 764番地1
おきたま林業株式会社
代表取締役 那須 正

【施設整備の内容等】

林業に係るコンテナ苗の生産施設の整備
生産量見込み 8万本（目標値 令和11年）
○整備の詳細
・コンテナ苗生産機械器具一式
・苗採取機一台
・コンテナ容器3千個
・ポンプ設置工事一式
・散水装置一式
・電気設備工事等

質疑

事業の継続

【委員】目標値が令和11年となっているが、その後も事業継続されるのか。

【当局】国庫補助の目標が8万本であるが、これは5年かからずに達成できるものと考えている。今後苗木は必要なので、事業は継続されると考えている。

友好都市（三鷹市）との連携

地球温暖化対策再造林整備事業について説明を受けた。

【目的】

友好都市の東京都三鷹市と連携して、町内の伐採跡地に再造林を行うことで二酸化炭素の吸収効果を高め、地球温暖化防止に寄与すること。

【実施内容】

白鷹町及び財産区等が所有する林地において、伐採跡地を対象として、再造林を行うもの。

【予算及び財源】

・予算 310万円
・財源 三鷹市負担金等

【スケジュール】

・令和6年7月
三鷹市と連携協定締結予定

質疑

育林への対応

【委員】育林についてどのように考えているのか。

【当局】再造林後の育林作業もあるので、なるべく手のかからない60センチ以上の大苗を植えて、下刈り作業を軽減していきたい。



元気に育て

その他
○黒鴨分収林の契約解除について
○鳥獣被害対策の強化について
等、説明があった。

総務厚生

一人4万円の控除

定額減税及び調整給付等について説明を受けた。

【定額減税】

令和6年分の所得税・令和6年度分の個人住民税について、納税者本人及び控除対象配偶者または扶養親族（国内居住者）一人につき、所得税額から3万円、個人住民税所得割額から1万円の定額減税額が控除される。

【低所得者支援給付金】

令和6年度新たに住民税非課税となる世帯及び住民税均等割のみ課税となる世帯へ給付金を支給。また当該世帯で18歳以下の子どもがいる世帯に対して、加算して給付する。

【調整給付】

減税額（定額減税可能額）が、減税を行う前の所得税額・個人住民税所得割額を上回り、減税しきれない場合は調整給付する。

①予算額
・調整給付金額 8245万円

②今後の予定
・7月頃町から対象者に確認書を送付
・9月～口座振込開始

①給付金額
・1世帯10万円
・こども加算 一人当たり5万円

②支給対象
令和6年6月3日時点で、本町に住民登録があり、世帯全員が住民税非課税者または住民税均等割のみ課税者で構成される世帯。

③今後の予定
・7月中申請受付開始
・8月上旬～給付開始

産業建設常任委員会 6月10日

受電盤更新で安心安全な水の供給へ

津島台浄水場受電盤設備更新事業について説明を受けた。

【背景】

津島台浄水場は、昭和49年度に竣工して以来、安心安全な水の安定供給にかかる施設として重要な役割を果たしている。

【スケジュール】

- ・令和6年6月 発注
- ・令和7年3月 出来高検査（令和6年度分）
- ・令和8年3月 出来高検査（令和7年度分）
- ・令和9年3月 工事完成、業務完了検査



50年間おつかれさまでした

質疑

他施設の改修

委員 建屋や浄水施設の老朽化について、近いうちに改修の可能性はあるのか。

当局 建物は耐用年数に達しておらず、その他施設についても利用については支障がないことから、次期計画策定の際に検討していきたい。

工事費の財源

委員 施工監理費は水道事業債とのことだが、工事費の財源はどういうものになるのか。

当局 受電盤設備の更新事業はすべて水道事業債と考えている。

【経過】

人口減少による使用料の減少や維持管理費の縮減が求められる中、平成29年度に公共下水道事業認可の変更手続きを行い、浅立地区及び西高玉地区農業集落排水施設を公共下水道に接続する工事に着手した。

○施工延長

1164・6m
R5 104・3m
R6 665・6m
R7 394・7m

【スケジュール】

- ・令和6年6月 発注（工期1月末予定）
- ・令和7年5月 発注（工期2月末予定）
- ・令和8年2月 事業完了

公共下水道への接続に向けて

西高玉地区農業集落排水施設の公共下水道接続事業について説明を受けた。

質疑

接続後の普及率

委員 浅立地区が公共下水道に接続されたことにより、下水道普及率は上がったのか。

当局 浅立地区が公共下水道になったことで全体の値は大きく変わらないが、公共下水道区域でみれば約5%ほど上がっている。

排水処理施設の跡地利用

委員 排水処理施設の跡地利用をどのように考えているか。

当局 地域の方々のご意見を伺いながら丁寧に進めていきたい。現在の意向としては資材置き場ということだが、有効活用できるように進めていきたい。



新たな活用に期待する

【事業概要】

- 事業年度 令和5年度～7年度（3年間）
- 事業費 1億9023万円

部活動の地域移行 8月より試行運用

中学校部活動の地域移行について説明を受けた。

【試験運用】

地域内の団体による受け入れ態勢が整った4種目について、試行運用として休日の活動を行っていく。

- ①種目 柔道・剣道・サッカー・水泳

- ②受入団体 既存のスポーツ少年団や総合型スポーツクラブを『白鷹Jrクラブ（仮称）』とし、事務局を教育委員会に置く。

- ③試行期間 8月末～12月末（4か月間）
- ・4種目以外の休日の活動は、今までどおり学校の部活動となる。
- ・4種目以外の部活動も受け入れ態勢が整った種目から移行する。
- ・町内に受け皿となる

団体がない種目は、広域的な環境整備を検討する。

- ・期間中は、スポーツ庁の委託金より指導者に謝金ができる。

質疑

受け皿のない部活動

【委員】受け皿となり得る団体がない部活動はどれくらいか。

【当局】休日の活動が難しい部も含め4種目ほどある。

教員の指導

【委員】地域クラブで教員が指導する際は無償になるのか。

【当局】教員の活動は可能であり、兼職・兼業として取り組むような制度になっていくと思われる。



事故の際の責任

【委員】事故が発生した場合の責任の所在はどこか。

【当局】クラブの責任になる。保険や研修等適切な対応が必要になる。

【組織設立について】

令和6年3月19日に地域人材ベースキャンプの運営組織である「したらかマルチワーク事業協同組合」が設立された。組合員は17事業者。

【マルチワーカーの募集について】

初年度2名のマルチワーカー雇用に向け、関連するウェブサイトを活用し、採用活動を実施している。

3月28日にオンライン説明会を実施。約40人が参加。その後9人とオンライン面談を実施し、うち1人が体験ツアーに参加した。マルチワーカーの働き方や地方移住に対し、

マルチワーカーの採用にはまだ至らず

地域人材ベースキャンプ設立事業について説明を受けた。

一定のニーズを確認できたが、採用には至っていない。

質疑

町民の理解

【委員】採用には町民の理解を深めるのも重要ではないか。

【当局】第一は移住を伴った方を指すが、町民を排除するものではないし、他市町村の事例もある。

参加者からの声

【委員】参加者の声はどのようなものがあるか。

【当局】ツアーに対する反応は良かったが、給与面で折り合いがつかなかった。給与を上げれば組合員の利用料の引き上げにもつながる

マルチワークとは

一年もしくは一週間や一日のなかで、複数の仕事を掛け持ちすること



てしまうため、今後検討していく必要がある。

その他
○白鷹町誕生70周年記念事業について等、説明があった。

「ふるさと森林公園等」の指定管理は終了

— 新たな指定管理者への引継ぎも完了 —



財団による指定管理が終了した「パレス松風」

○主な事業の利用者数（ ）は前年比

宿泊	6115人	(295人増)
宴会	1万 775人	(2486人増)
レストラン	6581人	(183人減)
もりもりハウス	808人	(402人増)
スキーセンター	775人	(2681人減)
入湯	5万2292人	(2171人増)
野外施設	3万2691人	(4943人減)

○主な事業の売上金額（ ）は前年比

宿泊	5832万円	(658万円増)
飲食	6002万円	(1088万円増)
入湯	1165万円	(42万円増)
スポーツ施設	695万円	(71万円減)

※万円未満は端数調整

事業報告

一般財団法人 白鷹町アルカディア財団

理事長 田宮 修

◆概要 コロナ過の影響も感染防止法上の位置づけが5類に引き下げられ、ウィズコロナの方向に舵が切られた。営業面では、各種支援制度による効果が営業収入の増加につながった反面、燃料費や光熱水道費及びその他の諸経費の高騰が経営を圧迫している状況は続き、経営環境の悪化が顕著となった。一方、令和5年度は当財団が「ふるさと森林公園等」の指定管理最終年度であり、これまでの感謝を込め、特別感謝月間等を設定し、お客様にご満足いただけるサービスの提供に努めた。

また、新たな指定管理者となる「株式会社 HESTA大倉」様とのスムーズな引継ぎを行うため、町も含めた三者において情報共有を図り、連携を図った。

◆収益高 宿泊・飲食部門の売上増、新型コロナウイルスワクチン接種コールセンター業務等の受託、白鷹町ふるさと森林公園管理特別対策事業補助金、原油価格等高騰対応支援給付金の交付により、経常収益合計は、2億7643万円（前年比106.0%）経常費用合計は、2億8285万円（前年比104.1%）となり、当期損益は550万円の赤字、繰越欠損金は6958万円。

町立病院の業務を受注 職員数は47人

有限会社ケイエスしらたか

代表取締役 藤島 丈

■主な業務受注状況

◇白鷹町立病院

医療事務・事務宿日直・調理業務・電算
保守等・事務補助・病院施設管理・患者
介護業務

■取締役・職員数（令和6年3月31日現在）

◇取締役 2人（非常勤・無給）
◇職員 47人

病院医療事務員	15人	(1人減)
病院宿日直	2人	
病院施設管理	3人	
病院調理師	10人	(1人増)
(管理栄養士兼務含む)		
電算処理	2人	
病院事務補助	4人	
看護助手	11人	

※（ ）内は、前年度との比較

■令和5年度決算

◇事業収益 1億7162万円
◇事業費用 1億7151万円
◇当期純利益 2万円

※万円未満は端数調整

■財産状況

◇資本金以外の財産なし

町民生活向上に 19項目の要望

6月21日、菅原議長は佐藤町長とともに山形県置賜総合支庁を訪れ、「令和7年度重要事業要望書」を総合支庁長に手渡しました。

重要事業要望書は町長と議長の連名によるもので、新規事業(1項目)を含む重要事業19項目について県の支援を要望しました。



高田架道橋付近

いち早い実現を

		要望事項	現状・要望理由
新 規	1	主要地方道長井大江線道路改築の早期着工について 【要望事項】 周辺住民の安全確保のため、早期に事業着手すること。	①フラワー長井線との交点となる高田架道橋から鮎貝駅前前の主要地方道長井白鷹線との交差点までの区間については、歩道が無いうえに道幅も狭く、その交通量の多さから、通学路として利用する小中学生や地域に暮らす住民の安全面において、大きな不安を抱える区間となっている。 ②冬期間は散水消雪により道幅の確保をいただいているが、大雪時には路肩の雪が消えずに道路が狭くなってしまうため、歩行者が路肩から車道にはみ出しながら通行する状況にもなっている。
	2	白鷹高等専修学校への支援	
継 続	3	デジタル化推進のための環境整備充実	
	4	人口減少対策に対する支援	
	5	地方交付税総額の確保充実	
	6	地域公共交通に対する支援	
	7	過疎対策事業債の必要額確保	
	8	地域医療の確保	
	9	グリーン社会の実現に向けた施策の充実	
	10	木材の安定供給体制構築の支援強化	
	11	森林境界明確化事業に対する支援	
	12	酪農業の持続可能な支援	
	13	有害鳥獣対策への支援	
	14	国道348号の高規格化による再整備	
	15	主要地方道長井白鷹線道路改築事業の推進	
	16	国道287号道路改築事業の整備促進	
	17	一般県道深山下山線黒滝橋の架け替え	
	18	長井～白鷹間西廻り幹線道路整備早期着工	
	19	GIGAスクール構想による個別最適な学びの充実	

継続事業の現状と要望事項については、議会だより第151号をご参照ください。早期に要望がかなうことを切に望みます。



どう生かされるか

2 郷土を愛する「ひと」づくり

① 移住・定住

提言

住んで良さを感じてもらえる、移住・定住に向けた取り組みを進めること。

回答

- ・移住者の住居を確保する支援では、社会情勢に合わせて支援内容の見直しも行っていく。
- ・マルチワーク事業を推進し、移住者のフォロー体制や交流の場の構築に取り組む。
- ・町内出身者などとの関係人口の拡大に向け、新しい形の情報発信や、お試し移住、交流の場の構築に取り組む。
- ・地域産業の担い手として、外国人材の受け入れ体制の強化に取り組む。
- ・移住後の円滑な人間関係づくりに向け、相談会でのしっかりとした説明や、移住体験ツアーでは地域との交流・活動ができるプランを盛り込むなどに配慮する。

3 魅力と活気にあふれる「しごと」づくり

① 産業の振興

提言

安心して働くことのできる産業の振興に向けた取り組みを進めること。

回答

- ・農業分野では、人件費や生産資材、燃料価格の高騰は高止まりの状況と捉えている。為替の動向も含め引き続き注視する。
- ・乳用牛は、自給飼料の生産拡大などの中長期を見据えた支援策も必要と考える。
- ・経済動向の把握のため、定期的な企業訪問や町独自の企業調査を引き続き実施する。

② 人材の確保

提言

若者や外国人労働者の人材の確保と、人手不足の解消を図ること。

回答

- ・若者の創業促進として、町独自の融資に対する利子助成や補助金の交付を行ってきた。他市町村の先進事例を踏まえさらなる検討を行う。
- ・外国人の労働者については、引き続き生活に必要なコミュニケーションや住環境などの支援策を検討していく。

政策提言は町政に

提言への回答

昨年、町長に手渡した政策提言（議会だより161号参照）に対し、議会に回答が示されました。提言は町政に生かされ、町民の暮らしに反映されていくのか、引き続きチェックします。



議会だより
161号参照



1 安心して暮らせる「まち」づくり

① 消防団・地域防災力

提言

消防団の機能強化と地域防災力の充実強化をはかること。

回答

- ・引き続き、団と連携し資機材の充実を含めた消防力の強化をはかる。
- ・機能別消防団員制度を地域の実情に応じ採用し、また、女性団員の検討など、消防活動に参加しやすい環境整備により入団を促進する。
- ・協力事業所表示制度の活用など、団と協議しながら総合的かつ計画的に推進する。

② 道路環境の整備

提言

快適で安心できる道路環境の整備に向けて取り組みを進めること。

回答

- ・町道整備への地元要望には、危険性、緊急性の高い箇所から順次対応する。
- ・国道287号と主要地方道長井大江線の道路改築、国道348号の高規格化による再整備は、町の要望事業として国・県への要望活動を引き続き行う。
- ・黒滝橋の早期架け替えと、一般県道深山下山線の改良については、県の道路整備計画に位置付けされるよう、引き続き要望活動を行う。

追跡レポート

— あの質問のゆくえ —

ペットの多頭飼育崩壊の防止は

ペットが増え過ぎて飼育環境が悪化する、いわゆる多頭飼育崩壊の未然防止に努める考えはどうか。
(令和5年3月議会)

答弁

環境省のガイドラインなどを受け、町報やチラシ、ホームページで周知・啓発を実施している。
今後、支援の在り方を検討したい。

どうなった

適正飼育に向けて準備

愛する家族の一員として迎え入れたペットの適正な飼育は飼い主の務めです。ペットの多頭飼育問題は、「飼い主が多頭の動物を飼育している中で、適切な飼育管理ができないことにより、飼い主の生活状況の悪化、動物の状態の悪化、周辺的生活環境の悪化の3つの影響が生じている状態」と定義されています。よって、適正な飼育が継続して実施でき



るのであれば、複数のペットがいたとしても問題にはなりません。

現在、町内における動物の適正飼育を推進するために（仮）白鷹町動物適正飼育推進委員会（以下、推進委員会）の設立に向けて準備を進めています。

推進委員会では、町内の動物関係団体等が相互に連携し、情報の共有、課題の整理、解決策の検討と実施に取り組み、人も動物も、命あるものが等しく幸せに生涯を全うできるまちづくりを目指します。

また、多頭飼育問題が生じているケースについては、推進委員会と連携し、去勢・不妊にかかる費用を支援する制度の実施も準備を進めています。

【町民課】

大切なペットの命のためにも、飼い主自らが自身と周囲の環境をよく考えることはもちろん、町でも適正な飼育ができるよう支援を含めて周知を推進していただきたい。

広報委員

委員長
丸川 雅 春
副委員長・編集長
佐々木 誠 司
委員
金 田 悟
委員
竹 田 雅 彦
委員
衣 袋 正 人
印刷・街梅津印刷

議会だより「しらたか」が創刊され今年で40年、町誕生70周年とあわせ記念すべき節目の年となります。先輩方が築いてこられました40年の歴史と伝統には目を見張るものがあり、議会だよりが持つ大きな役割を再確認していきたいと思っています。さて、40年前にこの町でイノシシによる農作物への被害を誰が予想できたでしょうか。個体数の増加、人的被害も心配されます。このようなことから、この度の補正予算に、捕獲ワナ等の資機材購入に対する事業費が計上されました。効果を期待したいものです。
(丸川)

編集後記



発行責任者 白鷹町議会議員 菅原 隆男 編集 議会広報特別委員会

〒992-0892 山形県西置賜郡白鷹町大字荒砥甲833番地
E-mail gikaijimu@so.town.shirataka.yamagata.jp

電話 0238-85-6135 FAX 0238-85-2128
HP <http://www.town.shirataka.lg.jp/gikai/>

